

動物学×考古学 中国古代の動物表現をテーマに、京都東山ならではのコラボが実現！



泉屋博古館 青銅器館  
「中国青銅器の時代」第3室 特集展示

# 青銅器になった動物たち

ANIMAL MOTIFS IN ANCIENT CHINESE BRONZES

2023 9/9<sup>土</sup> - 10/15<sup>日</sup>、11/3<sup>金</sup> - 12/10<sup>日</sup>

[主催] 公益財団法人泉屋博古館 [特別協力] 京都市動物園  
[助成] 令和5年度文化庁Innovate MUSEUM事業



動物モチーフで  
めぐる  
三千年の旅に  
出かけよう



# 京都市動物園



# 泉屋博古館

展示やイベントの  
詳細は  
泉屋博古館ホームページ  
をご覧ください！



## #Press Release



- ① 虎甗 (こゆう) 殷後期 前11世紀
  - ② 駒鴉尊 (しきょうそん) 殷後期 前13-12世紀
  - ③ 金銀錯獸形尊 (きんぎんさくじゅうけいそん) 北宋 10-12世紀
  - ④ 象文兕觥 (そうもんじこう) 殷後期 前12-11世紀
  - ⑤ 文甗 (かゆう) 殷後期 前12世紀
  - ⑥ 鳥形蓋甗 (ちようけいがいいか) 春秋前期 前8-7世紀
- いずれも泉屋博古館所蔵

泉屋博古館  
MUSEUM  
SENOKUKAN

# 動物学 × 考古学

開館 120 周年の  
京都市動物園と  
初のコラボ！



はるか昔からつづく人と動物のかかわりの歴史のなかで、動物の姿はさまざまなアートのなかに表現されてきました。いまから約 3000 年前の中国では、高度な鑄造技術が発達し、動物の姿をした青銅器が優れた造形感覚によってつくられています。古代の人々は動物をどのように観察し、どのような思いを込めてその姿を見つめてきたのでしょうか。ともに京都東山の地で活動する泉屋博古館と京都市動物園のコラボレーションにより、動物学×考古学という新しい視点から、その魅力と謎に迫ります。

Point  
01

## 京都市動物園とのコラボ展示で 難解なイメージの中国青銅器の魅力をわかりやすく！

京都市動物園にて飼育されている動物の写真とともに展示することにより、“意外とかわいい”中国青銅器の魅力をわかりやすくお伝えします。ありそうでなかった初の試みで、新たな魅力を再発見！



虎卣（こゆう）  
殷後期：前 11 世紀

虎が人を丸のみにしようとするかのような姿をあらわした、不思議な造形の器。虎の姿はデフォルメ化されているように見えるが、瞳や歯の形状は、実は野生のトラの特徴をかなり正確にとらえて写実的に表現している。

野生のトラと  
おなじく瞳は  
丸く描かれている



おなじネコ科でも  
イエネコやヤマネコの  
瞳は縦長に開き、トラの瞳は  
丸く開く



アムールトラ

Point

02

隠れ動物がたくさん！

青銅器に隠された動物文様と、そこに込められた謎に迫る

中国青銅器の最大の特徴は、表面をびっしりと埋め尽くす精緻な文様。そのなかには動物の姿が。隠された動物文様を探しつつ、中国古代の人々が動物をどのように観察していたのか、その謎に迫っていきます。

象文兕觥（ぞうもんじこう）  
殷後期：前 12-11 世紀



象の鼻の先が  
かくれている

かくれているゾウの鼻の先端は……



アジアゾウ

中国古代の動物と人の関係性に迫る

会場内では青銅器の文様や、中国古代の文字である甲骨文や金文にあらわされた実在の動物、空想上の動物をご紹介します、中国古代の人々にとって動物がどのような存在であったのかを読み解いていきます。



殷王朝の都、安陽殷墟遺跡からはアジアゾウの骨が出土しており、ゾウと一緒に埋葬された人骨も確認されている。



甲骨文の「象」



甲骨文の「鳳」

インドクジャク



Point  
03

コラボイベントも盛りだくさん！  
京都東山から動物モチーフでめぐる 3000 年の旅に出よう！

クロストークや子供向け鑑賞会のほか、京都市動物園と泉屋博物館をめぐるデジタルスタンプラリーなど、さまざまなイベントをご用意しています。この秋は京都東山から、動物モチーフでめぐる 3000 年の旅に出かけましょう！

クロストーク **要予約**

動物学×考古学の視点から、人と動物のかかわりの歴史、アートのなかでの表現に迫る全 2 回のクロストーク

「人と動物のかかわりの歴史  
—中国古代の視点から—Part 1」

10月21日(土) 13:30～15:00

[会場] 京都市動物園レクチャールーム

[定員] 80 名

\*泉屋博物館は休館日のため観覧できません

「人と動物のかかわりの歴史  
—中国古代の視点から—Part 2」

11月18日(土) 14:00～15:30

[会場] 泉屋博物館 講堂

[定員] 50 名

[講師] 坂本英房氏 (京都市動物園長)  
山本 堯 (泉屋博物館学芸員)

子供向け特別鑑賞会 **要予約**

動物園×美術館をめぐり、実際の動物の姿から、3000 年前の古代のアートをわかりやすく読み解いていきます

「古代の動物を探しに行こう！」

10月28日(土) 9:30～12:00

[会場] 京都市動物園&泉屋博物館

\*泉屋博物館は休館日のため観覧できません  
予約者限定のイベントです

[ガイド] 坂本英房氏 (京都市動物園長)  
山本 堯 (泉屋博物館学芸員)

[定員] 小学校 4～6 年生と保護者 10 組

9:30～10:30 京都市動物園見学  
11:00～12:00 泉屋博物館見学

デジタルスタンプラリー

開催期間中、京都市動物園・泉屋博物館に設置された 6 カ所のスポットをめぐり、3D 青銅器 AR フォトフレームをゲット！

2023年9月9日(土)～10月15日(日)  
11月3日(金)～12月10日(日)

[会場] 京都市動物園&泉屋博物館

スマートフォンに  
「COCOAR」アプリ  
をダウンロード



「COCOAR」を起動し、各スポット  
にあるマーカーをスキャン

台紙画面にアクセスし、スタンプを  
獲得します

スタンプが集まると、特典画面から  
AR フォトフレームをダウンロード  
できます

貸出可能画像



虎卣 (こゆう)  
殷後期：前 11 世紀



鸛鳴尊 (しきょうそん)  
殷後期：前 13-12 世紀



虎卣 (かゆう)  
殷後期：前 12 世紀



象文兕觥 (ぞうもんじこう)  
殷後期：前 12-11 世紀



金銀錯嵌形尊 (きんぎんさくけいけいそん)  
北宋：10-12 世紀

開催概要

展覧会名	青銅器になった動物たち
会 期	2023年9月9日(土)～10月15日(日)、11月3日(金)～12月10日(日)
開館時間	10:00～17:00 *最終入館は 16:30 まで
休 館 日	月曜日 (月曜日が祝日の場合はその翌平日)、10月16日～11月2日
入 館 料	一般 800 円、高大生 600 円、中学生以下無料
会 場	泉屋博物館 青銅器館「中国青銅器の時代」第 3 室 〒606-8431 京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町 24 tel: 075-771-6411
主 催	公益財団法人泉屋博物館
特別協力	京都市動物園
後 援	京都市教育委員会、京都市内博物館施設連絡協議会、公益社団法人京都市観光協会
助 成	令和 5 年度文化庁 Innovate MUSEUM 事業
お問い合わせ	泉屋博物館 (広報担当：坂井さおり 展示担当学芸員：山本 堯) web: <a href="https://sen-oku.or.jp/kyoto/">https://sen-oku.or.jp/kyoto/</a> e-mail: <a href="mailto:pr-kyoto@sen-oku.or.jp">pr-kyoto@sen-oku.or.jp</a>

会場には  
名探偵しきょうそん  
も登場！



# 「青銅器になった動物たち」 広報画像貸出申込書

会場：泉屋博古館 青銅器館「中国青銅器の時代」第3室

本展覧会について広報媒体へ掲載、取材をいただく場合、以下の作品画像をデータでお貸出しいたします。申込書のご希望の図版にを記し、用紙をFAXまたはメールにて返信のうえ、お問い合わせください。ご紹介いただく記事、番組内容については、情報確認のため校正の段階で事務局までお知らせください。お貸出する画像データは本展覧会終了をもって使用期限とさせていただきます。作品の画像を1点以上ご掲載の上、本展をご紹介くださる媒体に対し、**本展が観覧可能な併催展の招待券**を読者プレゼント用に提供いたします。申込書、所定の欄に招待券希望の旨を明記してください。

 <p><input type="checkbox"/> チラシ画像</p>	 <p><input type="checkbox"/> 虎卣（こゆう） 殷後期：前11世紀</p>	 <p><input type="checkbox"/> 鷓鴣尊（しきょうそん） 殷後期：前13-12世紀</p>
 <p><input type="checkbox"/> 戈卣（かゆう） 殷後期：前12世紀</p>	 <p><input type="checkbox"/> 象文兕觥（ぞうもんじこう） 殷後期：前12-11世紀</p>	 <p><input type="checkbox"/> 金銀錯獣形尊（きんぎんさくじゅうけいそん） 北宋：10-12世紀</p>

## ● 貴社基本情報

貴社名：

媒体名：

ご担当者名：

発行日／放送日：

URL：

ご連絡先

住所：

電話・FAX：

E-MAIL：

## ● 読者プレゼント用併催展チケット希望：

5組10名様

10組20名様

\*本展覧会と同時期開催の企画展チケットになります

掲載に関するお問い合わせ先 泉屋博古館（担当：坂井）

606-8431 京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24 TEL：075-771-6411 FAX：075-771-6099 E-mail：pr-kyoto@sen-oku.or.jp